

2023年4月20日 全8頁

## Indicators Update

# 2023年3月貿易統計

2022年度は過去最大の貿易赤字に／1-3月期外需寄与度はマイナスか

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

### [要約]

- 2023年3月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+4.3%（季節調整値では前月比▲0.8%）、輸入金額は前年比+7.3%（同、前月比▲1.2%）となった。貿易収支は▲7,545億円（同、▲1兆2,099億円）と、赤字幅は緩やかな縮小傾向にある。2022年度で見ると、貿易収支は▲21兆7,285億円と過去最大の赤字幅を記録した。輸出数量（前年比▲3.9%）が減少した一方、輸入数量（同▲1.6%）の底堅さや輸入インフレが輸入金額を押し上げた。
- 1-3月期の実質GDP成長率における外需寄与度はマイナスに転じるとみている。輸出数量（大和総研による季節調整値）は前期比▲4.9%と、中国向け（同▲10.3%）やEU向け（同▲9.3%）の減少を主因に伸び悩んだ。他方、輸入数量は同▲1.9%と相対的に小幅な減少にとどまった。また、足元では訪日外客数の急回復がサービス輸出を押し上げているが、金額ベースで見れば財輸出の減少を補うには至っていない。
- 3月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月から横ばいであった。半導体不足の緩和により米欧向けの自動車輸出が好調となったが、外需が縮小する中でその他の幅広い品目が足を引っ張った。地域別に見ると、米国向け（前月比+2.4%）やEU向け（同+1.7%）が増加した一方、アジア向け（同▲4.3%）は減少に転じた。
- 先行きの輸出数量は、米国の景気減速を主因に減少基調を辿るとみている。中国では景気回復の兆しが見られるが、財消費の持ち直しは鈍く、日本の輸出に対する押し上げ圧力は限定的だろう。他方、足元ではFRBが年央頃に利上げを停止するとの見方が強い。これが実現すれば、中国経済の回復や供給制約の緩和もあって年後半にも輸出数量は増加に転じるとみている。

## 【貿易金額】低調な財輸出を背景に1-3月期の外需寄与度はマイナスに転じる見込み

2023年3月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+4.3%と25カ月連続で増加し、コンセンサス（同+2.4%、Bloomberg調査）を上回った（図表1）。季節調整値では前月比▲0.8%と2カ月ぶりに減少した。輸出数量（大和総研による季節調整値、以下同）、輸出価格ともに伸び悩んでいる（図表2左）。

輸入金額は前年比+7.3%であった。品目別では石炭や原油及び粗油、石油製品などが増加した。季節調整値では前月比▲1.2%と5カ月連続で減少した。輸入数量（大和総研による季節調整値、以下同）で前月の反動増が表れたが、輸入価格がより顕著に下落した（図表2右）。

貿易収支は▲7,545億円と20カ月連続の赤字となった。季節調整値では▲1兆2,099億円と、均して見れば赤字幅は緩やかな縮小傾向にある（図表3）。また1-3月期の貿易収支（季節調整値）は▲4兆2,671億円と、赤字幅が前期から1兆6,667億円縮小した。外需の縮小で輸出金額が伸び悩んだが、円安の一服や資源価格の下落による輸入金額の下振れが強く表れた。

以上を受け、1-3月期の実質GDP成長率における外需寄与度はマイナスに転じると見込む。同期の輸出数量は前期比▲4.9%と、中国向け（同▲10.3%）の大幅減を主因に低迷した。また、EU向け（同▲9.3%）も半導体等製造装置などの設備投資需要の一巡を背景に減少している。他方で輸入数量は同▲1.9%と、相対的に小幅な減少にとどまった。輸入インフレの下でも国内経済の正常化進展を背景に底堅い結果となった。なお、足元で訪日外客数の急回復が進んでいるが、財輸出の減少を補うには至っていない。1-3月期の訪日外国人旅行消費額が前期差+4,197億円となったのに対し（1次速報、観光庁）、財の輸出金額は同▲1兆7,158億円であった。

2022年度の輸出金額は前年比+15.5%、輸入金額は同+32.2%となり、貿易収支は▲21兆7,285億円と過去最大の赤字幅を記録した。輸出数量（同▲3.9%）が減少した一方、輸入数量（同▲1.6%）が相対的に底堅いことや輸入インフレが輸入金額を押し上げたことが背景にある。

図表1：貿易統計の概況

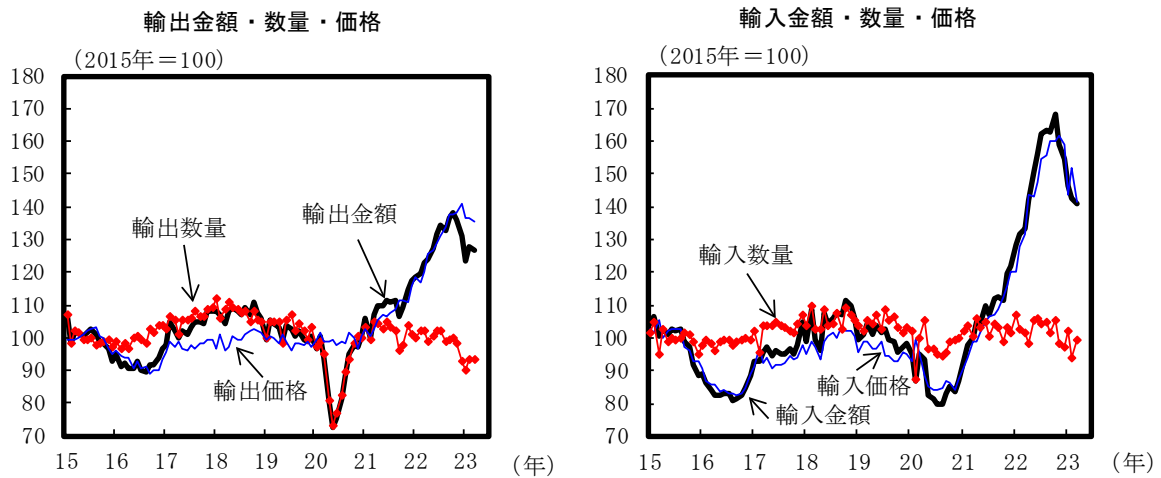
		2022年						2023年		
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
原系列 前年比 %	輸出金額	19.0	22.0	28.9	25.3	20.0	11.5	3.5	6.5	4.3
	コンセンサス									2.4
	DIRエコノミスト予想									2.5
	輸入金額	46.9	49.3	45.8	53.6	30.3	20.8	17.6	8.3	7.3
	輸出数量	▲1.9	▲1.1	3.8	▲0.3	▲3.6	▲7.0	▲10.9	▲7.8	▲8.1
	価格	21.4	23.4	24.2	25.7	24.4	19.9	16.1	15.5	13.6
	輸入数量	2.3	2.8	▲1.6	5.7	▲4.7	▲6.4	▲2.3	▲7.8	▲2.6
価格	43.7	45.3	48.2	45.4	36.7	29.0	20.4	17.4	10.2	
	貿易収支(億円)	▲14,219	▲27,904	▲20,992	▲21,715	▲20,319	▲14,586	▲35,064	▲8,981	▲7,545
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	1.7	▲1.0	2.8	1.2	▲1.7	▲3.3	▲6.1	3.7	▲0.8
	数量	0.2	▲3.2	0.2	0.9	▲1.9	▲5.3	▲3.0	3.5	0.0
	価格	1.5	2.2	2.6	0.3	0.2	2.1	▲3.2	0.1	▲0.8
	輸入金額	3.7	0.7	▲0.1	3.4	▲5.6	▲2.9	▲5.0	▲2.8	▲1.2
	数量	▲1.2	0.1	▲3.0	3.7	▲6.6	▲1.1	4.8	▲7.9	6.0
	価格	5.0	0.6	2.9	▲0.3	1.1	▲1.8	▲9.4	5.6	▲6.8
		貿易収支(億円)	▲21,236	▲22,864	▲20,365	▲22,956	▲18,284	▲18,098	▲18,043	▲12,530
	税関長公示レート	136.05	135.08	139.81	145.09	146.43	137.90	132.08	130.38	134.97

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

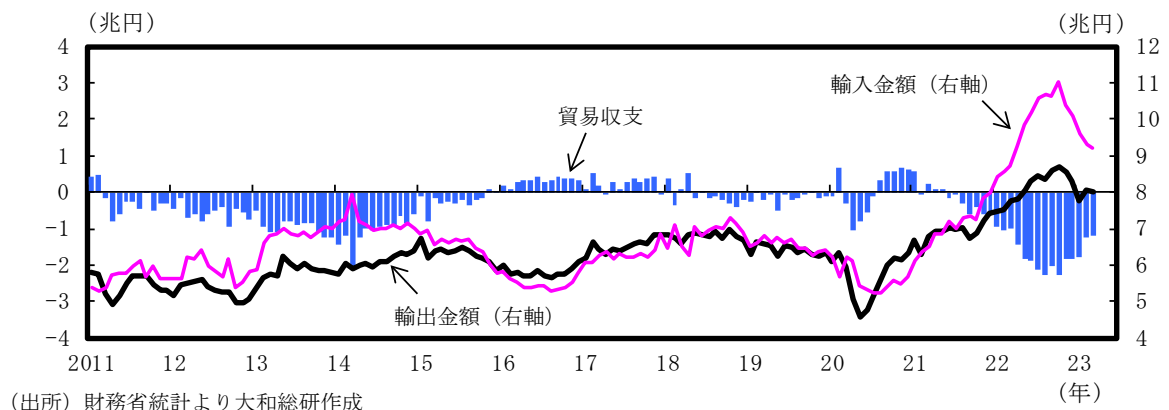
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格 (季節調整値)



図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支 (季節調整値)



## 【輸出数量】米欧向け自動車が2カ月連続で大幅に増加もその他の品目は低調

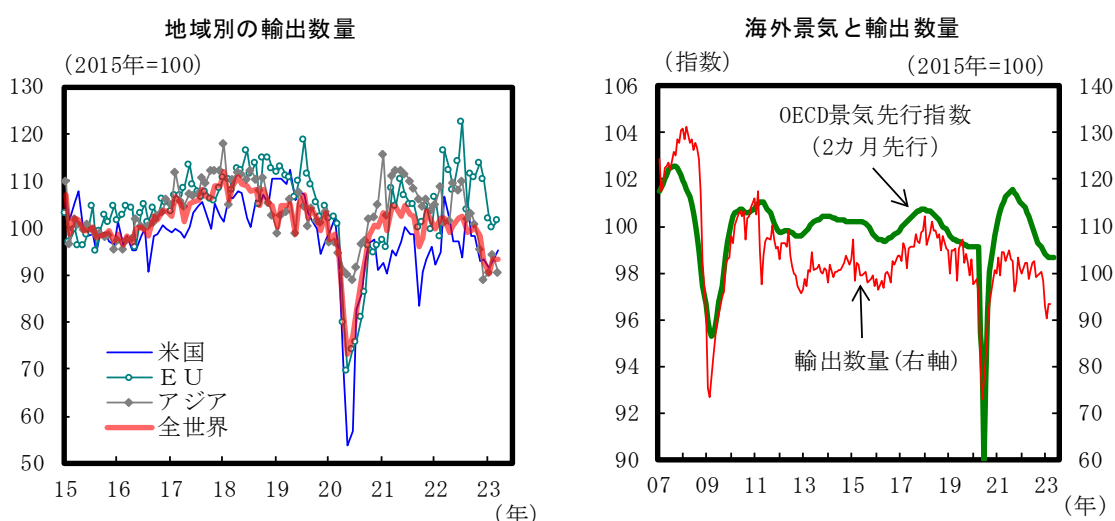
3月の輸出数量は前月から横ばいであった。半導体不足の緩和で米欧向けの自動車輸出が好調だったが、外需が縮小する中でその他の幅広い品目が足を引っ張った。地域別に見ると、米国向け（前月比+2.4%）が底堅い動きとなったほか、EU向け（同+1.7%）で底打ちの兆しが見られた。他方、アジア向け（同▲4.3%）は中国向け（同▲0.8%）の伸び悩みもあって減少に転じた。

米国向けは2カ月連続で増加した。自動車輸出が前月に続いて高い伸びを記録したほか、二輪自動車も増加に寄与した。他方でその他の品目は伸び悩んでおり、とりわけ自動車の部分品が2カ月連続で全体を押し下げた。自動車需要は旺盛だが、米国での寒波の影響もあって2022年末から自動車工場の稼働率が低迷しており、部品の在庫調整が続いている可能性が高い。

EU向けは4カ月ぶりに増加した。米国と同様に自動車輸出が2カ月連続の大幅増となった。また、主力の半導体等製造装置も全体を押し上げた。同品目は2022年春をピークに減少傾向にあったが、同年秋に底を打ったとみられ、足元では均して見れば緩やかな増加基調に転じている。その他の品目では、二輪自動車、自動車の部分品、電算機類の部分品などが増加した。

アジア向けは3カ月ぶりに減少した。鉄鋼やプラスチック、電算機類の部分品などの中間財が減少した。米欧経済の鈍化を背景に、アジアで加工貿易活動が停滞している可能性が示唆される。その他の品目では、半導体等製造装置や集積回路（IC）が増加した。中国向けでは自動車が大幅に減少した。2022年末の自動車購入支援策の終了もあって自動車需要の低迷が継続している。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数（CLI）はG20ベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

## 【見通し】中国経済の回復や米利上げ停止で年後半にも増加へ転じるか

先行きの輸出数量は、米国の景気減速を主因に減少基調を辿るとみている。他方、将来的にFRBによる追加利上げの停止で米国経済への下押し圧力が弱まることで、中国経済の回復や供給制約の緩和に伴って輸出数量は増加に転じるとみている。

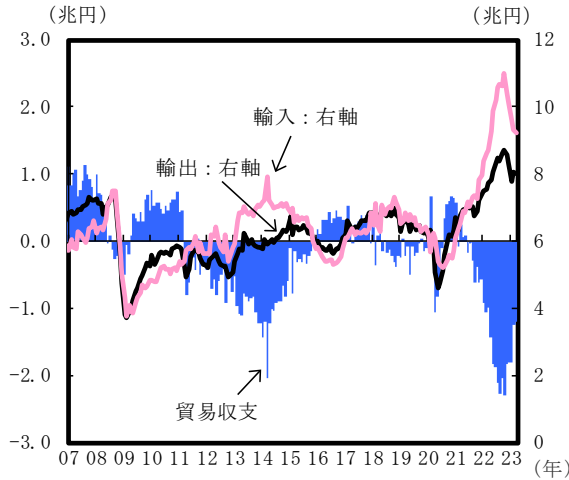
輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは年央頃まで弱い動きを辿るとみられる。米国の2月小売売上高は前月比▲1.0%と2カ月連続で減少しており、金融引き締めによる購買力の低下の影響が強まっている。他方で3月FOMCの議事要旨では、シリコンバレー銀行(SVB)などの破綻を念頭に金融引き締めの副作用に配慮する姿勢が見られ、利上げ停止を意識させる内容であった。足元のフェデラル・ファンド(FF)金利先物市場では年央頃の利上げ停止が見込まれているが、FRBが副作用により焦点を当てた政策運営へと転換すれば、年後半にも日本の対米輸出は増加基調に転じるだろう。

欧州向けは徐々に下げ止まるとみている。欧州と経済的な結びつきが強い中国では景気回復の兆しが見られており、欧州域内での生産活動の活発化が機械投資を呼び込む可能性がある。欧州向け輸出の主力品目である一般機械には追い風となろう。またウクライナ危機が発生して以来、欧州は鉄鋼などの輸入先をロシアから日本に振り替えている。ウクライナ危機の長期化に伴い、今後も日本からの代替輸出が下支え材料となるとみている。

中国向けは経済正常化の進展に伴い回復に向かう見込みだ。中国の1-3月期実質GDP成長率は前年比+4.5%と市場予想を上回った。「ゼロコロナ」政策の解除によって新型コロナウイルスの感染者数が急増したとみられる中でも、景気回復の兆しが見て取れる内容だった。ただし、サービス消費に比べて財消費の回復は鈍いため、先行きでは日本からの輸出の回復は緩やかなペースとなろう。また、日米蘭による半導体関連財の輸出規制の影響には引き続き注意が必要だ。日本の輸出規制は7月から実施される予定だが、将来的に中国で半導体製造ラインの増設が困難になるとの観測から、より早い時期に半導体等製造装置などの輸出が減少する可能性がある。

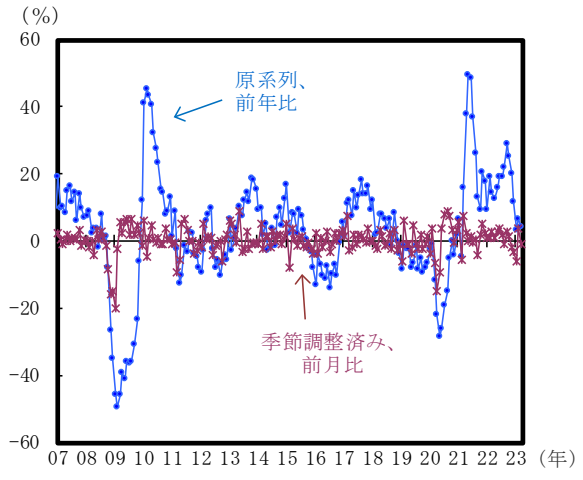
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

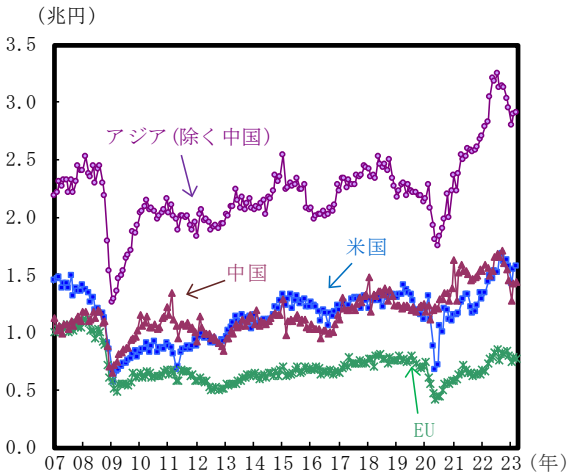


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

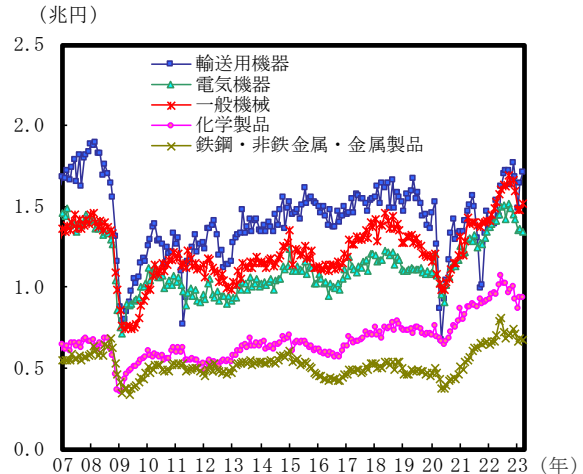


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

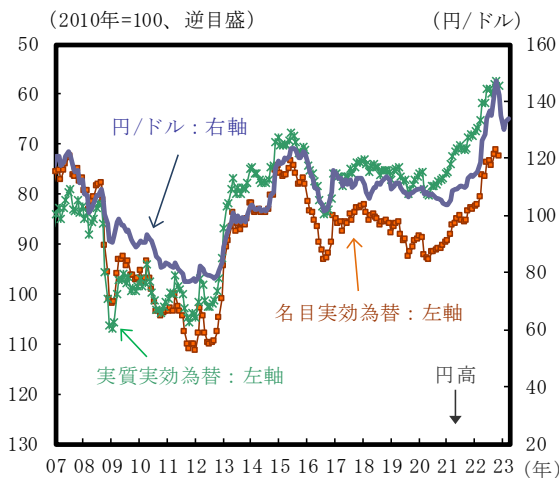


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

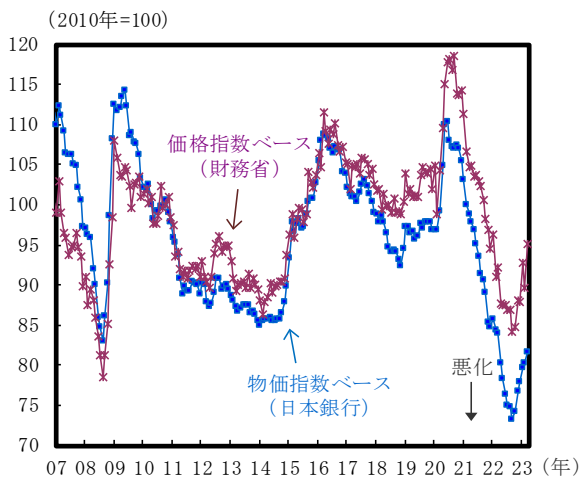


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2022/10	2022/11	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	25.3	20.0	11.5	3.5	6.5	4.3	100.0	4.3
食料品	16.6	16.1	7.3	▲5.5	18.5	13.1	1.2	0.1
原料品	15.2	13.6	▲0.8	11.4	1.7	▲0.8	1.7	▲0.0
鉱物性燃料	76.0	19.9	67.6	17.7	16.9	13.1	2.0	0.2
化学製品	10.0	10.7	1.2	▲6.6	▲2.1	▲3.2	11.3	▲0.4
原料別製品	12.4	13.5	8.3	4.6	3.0	1.1	11.8	0.1
鉄鋼	7.3	11.0	3.7	5.5	3.0	▲0.7	4.7	▲0.0
非鉄金属	18.1	17.6	15.9	0.4	4.5	10.9	2.5	0.3
金属製品	9.5	11.7	3.2	3.1	▲4.0	▲7.7	1.3	▲0.1
一般機械	17.6	18.9	13.2	4.5	1.4	1.7	20.0	0.3
電気機器	17.9	11.4	6.2	▲1.5	▲1.7	▲4.5	16.1	▲0.8
半導体等電子部品	20.1	11.4	0.4	0.4	0.5	3.2	5.2	0.2
I C	24.1	12.0	2.0	5.3	5.1	10.3	3.7	0.4
映像機器	108.8	93.6	93.4	▲23.4	▲14.8			
映像記録・再生機器	31.6	20.3	23.2	▲8.9	2.0	4.4	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	▲15.9	▲14.2	2.6	▲0.5	4.3	▲15.9	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	16.0	15.9	7.4	▲2.1	▲2.9	▲8.4	2.1	▲0.2
輸送用機器	61.4	33.8	14.5	9.2	16.1	23.0	22.0	4.3
自動車	81.0	38.3	17.9	14.9	23.5	38.3	15.8	4.6
自動車の部分品	24.5	5.1	3.3	▲13.7	▲11.0	▲13.6	3.5	▲0.6
その他	29.7	27.1	20.6	6.8	20.0	2.5	13.9	0.4
科学光学機器	18.5	7.3	0.6	▲2.2	6.8	7.4	2.5	0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2022/10	2022/11	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	36.5	32.6	16.9	10.4	14.9	9.4	100.0	9.4
食料品	▲11.0	▲7.6	▲9.0	2.4	6.9	▲16.4	0.9	▲0.2
原料品	22.0	14.7	▲13.6	▲29.5	9.4	▲26.6	0.5	▲0.2
鉱物性燃料	419.7	▲86.9	▲58.5	▲26.0	▲5.6	112.3	1.0	0.6
化学製品	20.7	56.3	13.4	▲2.2	15.2	4.5	8.2	0.4
原料別製品	19.3	30.1	26.7	37.8	24.1	6.6	7.2	0.5
鉄鋼	17.7	80.0	34.5	57.3	51.6	23.2	1.7	0.4
非鉄金属	50.9	37.1	73.1	60.0	37.5	43.6	1.0	0.3
金属製品	8.2	16.4	5.1	26.2	1.2	▲22.0	1.2	▲0.4
一般機械	30.6	39.6	23.9	14.0	11.8	0.9	25.0	0.2
電気機器	19.6	14.2	12.4	16.1	6.1	▲5.7	13.7	▲0.9
半導体等電子部品	9.0	6.3	7.9	5.9	▲11.5	1.9	1.3	0.0
I C	20.9	9.9	4.3	8.7	▲19.0	4.9	0.6	0.0
映像機器	29.8	21.3	16.1	▲14.7	▲2.4			
映像記録・再生機器	38.0	11.9	7.2	▲20.3	▲19.0	▲17.8	0.4	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲52.6	▲52.8	▲12.3	13.1	24.6	▲4.3	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	19.1	13.2	12.8	12.2	17.9	4.0	1.3	0.1
輸送用機器	68.5	34.6	15.5	1.5	14.1	37.2	32.7	9.7
自動車	78.6	41.1	16.2	▲1.7	13.7	59.9	26.2	10.7
自動車の部分品	31.1	2.6	2.2	5.7	4.7	▲24.5	4.5	▲1.6
その他	26.1	29.0	12.0	21.2	33.4	▲5.3	10.9	▲0.7
科学光学機器	38.9	39.3	24.5	19.6	31.0	20.5	2.8	0.5

EU向け輸出金額 内訳								
	2022/10	2022/11	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	28.1	32.0	27.0	9.5	18.6	5.1	100.0	5.1
食料品	▲4.8	▲14.4	▲5.0	▲11.6	54.2	▲13.6	0.6	▲0.1
原料品	32.5	▲1.0	33.1	7.2	4.8	▲19.3	0.9	▲0.2
鉱物性燃料	101.1	▲38.7	728.0	▲63.1	▲16.2	▲85.3	0.1	▲0.3
化学製品	11.6	7.3	16.6	3.3	11.0	▲10.2	10.5	▲1.3
原料別製品	25.9	61.5	56.4	22.9	17.9	10.2	8.6	0.8
鉄鋼	30.9	208.9	134.0	29.7	23.3	39.3	2.7	0.8
非鉄金属	40.7	45.3	79.4	81.1	77.3	30.0	1.2	0.3
金属製品	17.0	15.6	20.5	14.6	5.8	▲2.1	1.3	▲0.0
一般機械	17.6	30.5	33.1	17.9	11.1	▲4.2	23.8	▲1.1
電気機器	19.8	21.1	24.5	1.8	6.4	▲1.5	15.8	▲0.2
半導体等電子部品	27.9	21.2	14.0	▲0.3	4.8	8.5	2.3	0.2
I C	21.5	11.0	13.1	▲2.3	▲9.4	▲3.8	0.9	▲0.0
映像機器	59.1	64.0	67.5	8.0	9.8			
映像記録・再生機器	23.4	42.0	49.8	▲1.1	10.7	12.0	0.7	0.1
音響・映像機器の部分品	▲14.3	▲48.9	44.2	▲40.1	▲28.6	▲32.0	0.1	▲0.1
電気回路等の機器	16.8	35.9	32.0	11.8	12.3	7.0	1.7	0.1
輸送用機器	77.5	66.0	21.8	26.6	59.2	27.0	25.2	5.6
自動車	101.7	69.9	16.1	51.2	122.0	79.3	16.6	7.7
自動車の部分品	13.0	8.5	0.9	▲37.0	▲22.5	▲24.4	4.1	▲1.4
その他	14.9	10.6	11.3	▲11.1	5.5	13.8	14.5	1.9
科学光学機器	33.0	26.5	29.3	11.9	12.2	8.0	4.5	0.4

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2022/10	2022/11	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	16.6	11.6	4.1	▲4.0	▲1.3	▲1.1	100.0	▲1.1
食料品	23.3	22.7	11.6	▲8.7	20.4	24.5	1.6	0.3
原料品	13.1	14.0	▲2.0	15.9	▲0.0	2.3	2.7	0.1
鉱物性燃料	30.3	▲9.8	53.8	35.1	▲6.4	▲7.0	2.2	▲0.2
化学製品	5.1	5.7	▲1.6	▲10.8	▲7.2	▲4.5	14.9	▲0.7
原料別製品	9.5	7.0	1.2	▲4.3	▲3.4	▲2.7	14.4	▲0.4
鉄鋼	5.5	1.0	▲4.0	0.4	▲6.3	▲8.8	5.7	▲0.5
非鉄金属	13.1	10.5	7.9	▲11.3	1.0	11.9	4.0	0.4
金属製品	7.4	7.6	▲3.6	▲11.5	▲10.7	▲10.4	1.4	▲0.2
一般機械	10.6	9.1	3.9	▲3.2	▲4.3	3.2	20.1	0.6
電気機器	16.6	9.0	1.2	▲6.8	▲5.4	▲6.1	20.4	▲1.3
半導体等電子部品	19.8	10.9	▲0.6	▲0.2	1.0	2.8	8.8	0.2
I C	24.2	12.1	1.5	5.4	6.3	10.8	6.6	0.6
映像機器	228.9	197.3	186.3	▲34.6	▲27.7			
映像記録・再生機器	24.5	13.6	18.7	▲12.7	15.7	15.2	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	▲15.8	0.6	▲5.8	▲10.3	▲1.2	▲18.1	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	14.2	13.8	3.4	▲7.1	▲7.4	▲11.2	2.9	▲0.4
輸送用機器	48.1	22.0	▲11.9	▲10.8	▲1.0	▲5.0	7.3	▲0.4
自動車	71.6	24.7	▲22.2	▲7.0	2.0	▲7.4	3.9	▲0.3
自動車の部分品	28.9	5.2	▲2.5	▲19.3	▲21.2	▲8.6	2.6	▲0.2
その他	29.4	25.0	21.3	0.9	14.8	5.5	16.5	0.9
科学光学機器	8.8	▲5.8	▲11.9	▲13.9	▲2.5	2.8	2.6	0.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2022/10	2022/11	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	7.7	3.5	▲6.2	▲17.1	▲10.9	▲7.7	100.0	▲7.7
食料品	26.4	43.5	21.8	3.4	33.9	21.3	1.4	0.2
原料品	14.1	40.4	17.6	1.8	0.4	13.4	3.2	0.3
鉱物性燃料	135.3	10.4	103.7	138.2	285.0	44.3	1.2	0.3
化学製品	4.1	7.6	0.4	▲11.0	▲8.6	▲1.8	18.6	▲0.3
原料別製品	▲0.3	▲2.6	▲6.3	▲17.5	▲16.2	▲10.2	11.6	▲1.2
鉄鋼	2.4	▲11.7	▲11.7	▲12.3	▲28.9	▲37.8	2.6	▲1.5
非鉄金属	▲10.9	▲8.7	▲5.7	▲25.3	▲8.2	24.4	4.1	0.7
金属製品	2.7	0.9	▲14.0	▲25.0	▲16.8	▲17.8	1.5	▲0.3
一般機械	▲3.0	▲3.2	▲7.7	▲16.2	▲11.8	2.0	25.0	0.5
電気機器	9.6	2.7	▲2.4	▲16.0	▲12.1	▲11.4	21.6	▲2.6
半導体等電子部品	8.5	2.2	3.9	▲2.5	1.6	14.9	7.7	0.9
I C	13.3	2.2	10.9	7.9	9.5	33.3	5.7	1.3
映像機器	294.0	204.3	237.3	▲41.0	▲38.4			
映像記録・再生機器	▲7.0	▲11.0	8.5	▲33.6	20.1	15.5	0.4	0.1
音響・映像機器の部分品	▲40.4	▲6.3	▲19.1	▲34.1	▲23.1	▲37.9	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	14.0	10.2	▲5.5	▲15.1	▲15.9	▲20.2	3.3	▲0.8
輸送用機器	34.3	▲0.9	▲45.7	▲56.4	▲43.5	▲48.4	4.9	▲4.2
自動車	71.8	11.3	▲50.2	▲52.1	▲34.2	▲62.7	2.1	▲3.2
自動車の部分品	3.0	▲18.8	▲38.1	▲64.5	▲58.1	▲31.2	2.5	▲1.0
その他	14.6	10.9	3.0	▲8.6	7.8	▲6.2	12.6	▲0.8
科学光学機器	▲0.2	▲10.6	▲16.8	▲19.0	▲3.0	▲2.3	3.3	▲0.1

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成